

# TAKUの形に!!

地活性化の取り組みが進むにつれて、駅前広  
自イベントなども1つ2つと広がりを見せ、  
重なって、まちづくりに夢を広げています。  
ていただき、市が進めている事業の今や今後

イベントを通じたまちなかの  
情報発信を継続したい

藤川範史さん（TAKU駅前元気まつり実行委員会委員長）

昨年、おいでんさいカード  
店会の抽選会がきっかけで、  
そこに市内の若者有志の「自  
分たちも多久が元気になるこ  
とをやってみよう」という声  
からTAKU駅前元気まつり  
が始まりました。

今年は、商工会設立50周年  
記念事業の中で、市民のみな  
さんに日頃の感謝を込めた地  
域振興の記念イベントとして、  
第2回目の元気まつりを開催  
することができました。「元気  
まつりは良かった」という市  
民の方の声を聞いており、今  
後も続けたいと思っています。



▲32型液晶テレビや折りたたみ自転車など豪華賞品が当たった大抽選会

まちづくりは将来に向けて  
継続していくことが大事です。  
今後も多久を元気にするため、  
また駅前に賑わいを取り戻す  
ため、イベントを通じてまちなかの情報発信を行っていき  
たいと考えています。

若者から元気の輪を広げ、  
まちづくりの一步に！

笹川知子さん（ハピたくらぶ代表）

昨年の元気まつりをきっか  
けに、「私たちが住み続ける多  
久が元気になるお手伝いをし  
たい」「自分たちができること  
に挑戦しよう」と発足したの  
が「ハピたくらぶ」です。

5月の第2回元気まつりは、  
ハピたくらぶでの初活動でし  
た。いろいろと企画を練って、  
準備を進め終わつてみると、元  
気まつりのコンセプトである  
「元気」を私たちメンバーが参  
加者のみなさんや他のスタッフ  
からいただいたよつでした。  
このような活動を続けてい  
くことで、若い人達から元気



▲南エリアを盛り上げたボランティアの多久高生、商工会青年部とハピたくらぶメンバー。感謝のご挨拶で締めくくりました

の輪を広げ、まちづくりへの  
一步となるような活動になれ  
ばと思います。まだまだ、知  
名度も力もありませんが、元  
気と若さがあります！みなさ  
ん、ハピたくらぶの応援よろ  
しく願います。

みなさんに楽しんで頂きたい  
『軽トラ市多久』 次回は7月10日

山本茂雄さん（よつて見んしゃい！軽トラ市多久

多久市商工会

筋原商工連盟会長）

多久駅駅舎が完成し、駅北  
地区の整備が進む中、筋原商  
工連盟では「多久駅前に活気  
を取り戻して昔の名店街のよう  
な街並みを作りたい」という  
思いから、半年にわたつて吉  
野ヶ里町の軽トラ市を研究し

くりり拍車がかかればと思い、  
これからも継続したいと考え  
ています。開催は毎月第2日  
曜日で、次回は7月10日。み  
なさんよつて、お越しください。

まちづくりに向けた  
「土地区画整理事業」の  
整備状況

多久駅周辺では、中心市街地活  
性を図るため、平成26年度完成を  
目指し土地区画整理事業を行つてい  
ます。

現在までに、多久駅南側の宅地整  
備、公園、新駅舎などが完成。平成  
22年度には、多久駅前広場、駐輪場、  
駐車場の整備が整いました。今後は  
駅北側の宅地整備をはじめ、県道・  
市道、山犬原川の整備などを進めて  
いきます。

10年をかけてつくる  
魅力ある「まちなか」への  
取り組み状況

平成21年度は、商工会を中心にま  
ちづくりを検討する「まちづくり協  
議会」を立ち上げ、さらに女性や若  
者世代など幅広い世代にも集まって  
いただき「まちなかに何が求められ  
ているかについて」議論を重ね、今  
後のまちづくりの方針を検討してき  
ました。

平成22年度には、「その内容をさ  
らに具体化させるためのプラン」や  
「それを動かすための組織体制につ  
いて」も議論を重ねてきました。特  
にプランの中心となる駅前の中核施  
設に関しては、様々な世代の人々に